2016年12月期　第3四半期決算説明会

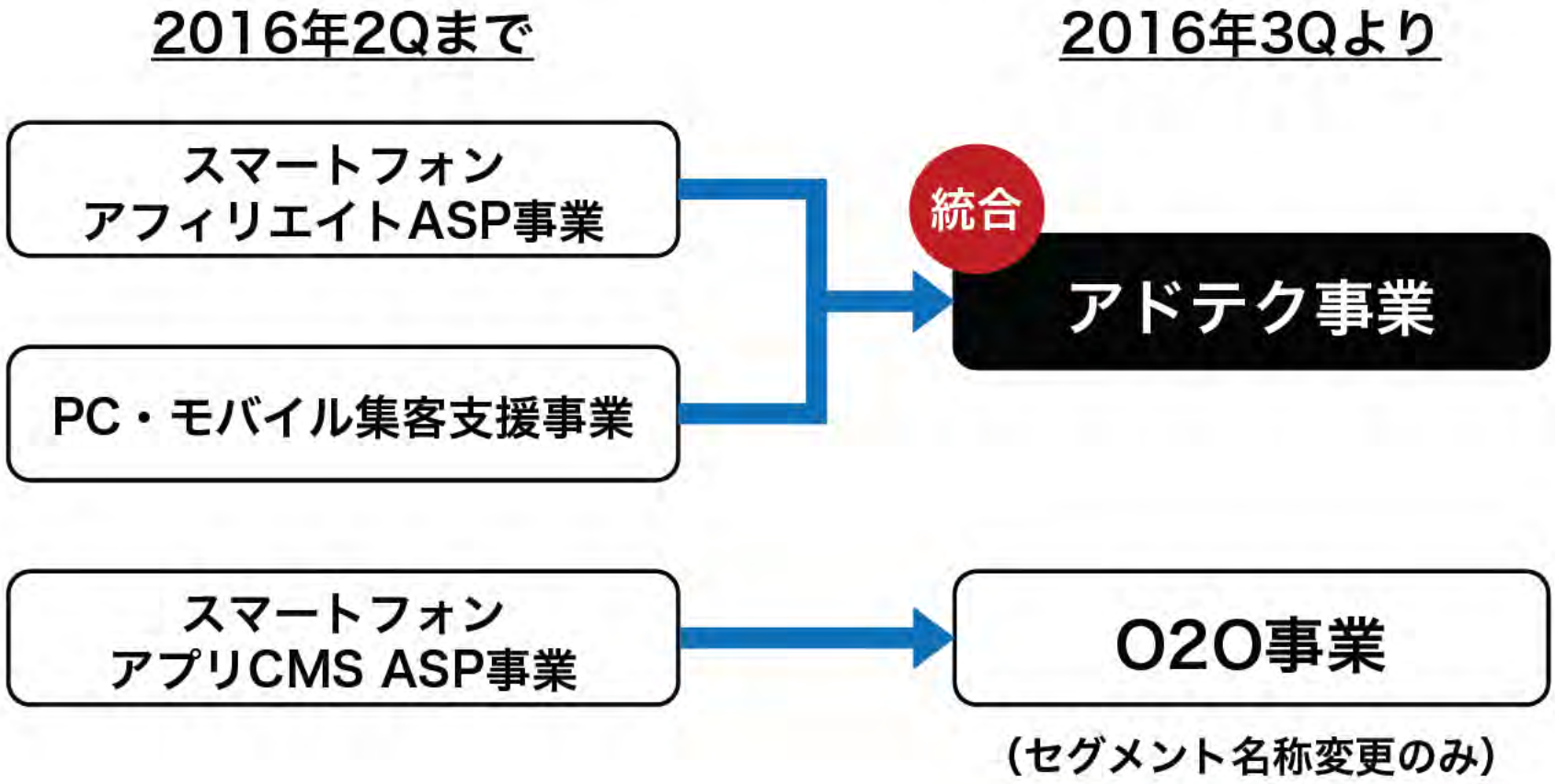
GMO TECH

東証マザーズ<６０２６>

2016年10月27日

報告セグメントの変更

2016年8月に経営効率の向上のために組織再編を実施。
自社商材を軸に成長を図る。



1. 結論と要約
2. 第3四半期決算概要
3. セグメント別概況
   ①アドテク事業
   ②O2O事業
4. 総括

決算サマリ

2016年2Qを底に、3Qは売上・利益ともに反転
再成長へ向けて組織強化と商品開発を実施中

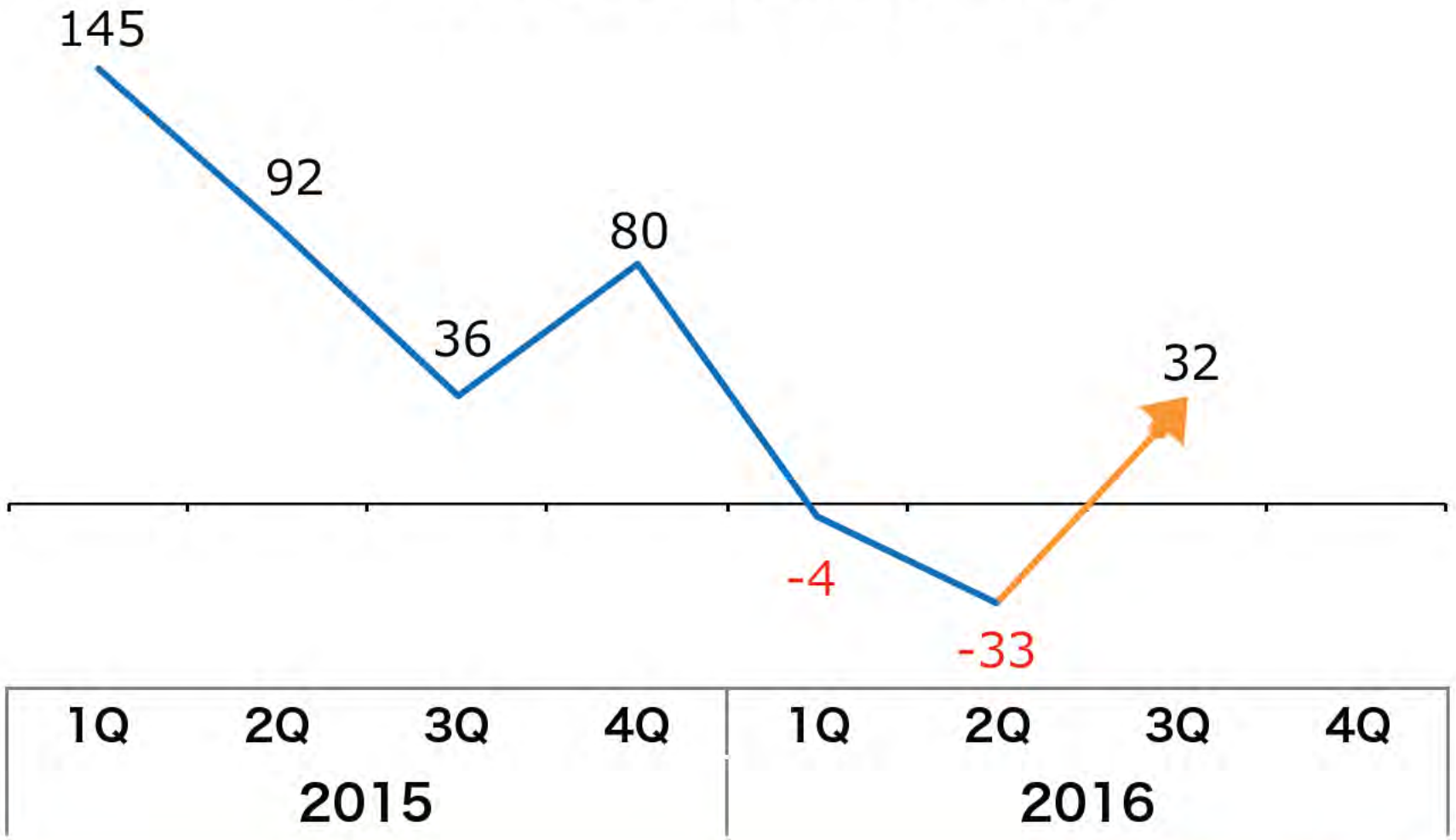
単位：百万円	2016年 1Q	2016年 2Q	2016年 3Q	3Q-2Q 改善幅
売上高	855	640	↗ 729	+89
営業利益	-4	-33	↗ 32	+66
経常利益	-4	-36	↗ 32	+69
最終利益	-10	-36	↗ 20	+57

日本を代表する総合インターネットグループへ GMO

全社営業利益の推移

アドテク・O2O各事業の収益改善および コスト改革により回復基調

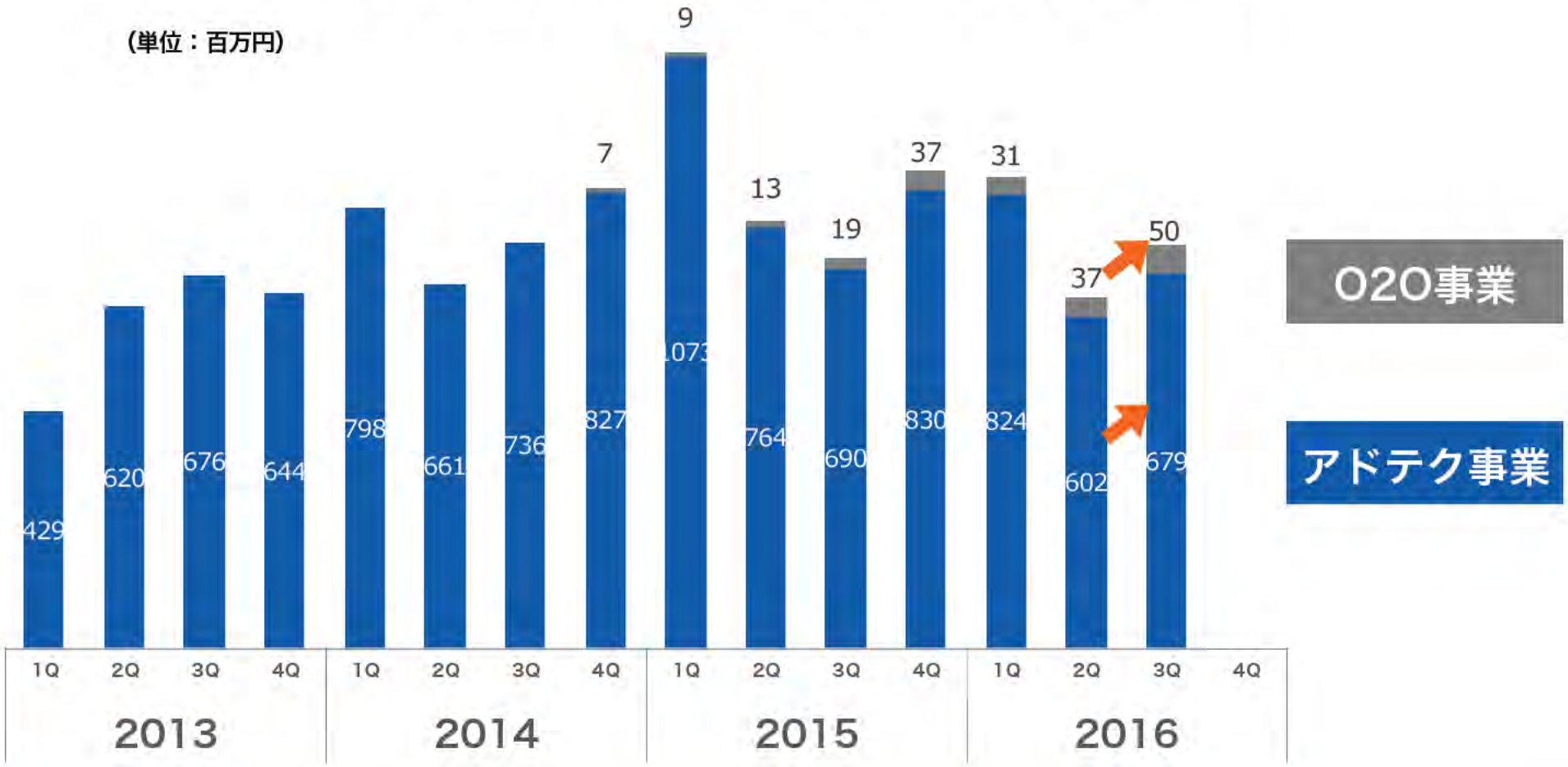
(単位：百万円)



GMO TECH

セグメント別売上

アドテク事業の組織強化・商品開発を4Qも実施
3Qは、対2Q比で２事業とも売上拡大



GMO TECH

セグメント別営業利益

アドテク事業　2Q赤字→3Q+46百万円
O2O事業　2Q→3Q 赤字幅半減



業績予想に対する進捗

業績改善傾向にあり、修正後予想は達成見通し

単位：百万円	通期業績予想（修正後）	2016年 1-9月累計	進捗
売上高	2,600	2,225	85.6%
営業利益	-60	-6	ー
経常利益	-60	-8	ー
当期純利益	-64	-27	ー

日本を代表する総合インターネットグループへ GMO

第3四半期決算概要

貸借対照表サマリ

自己株式・配当・四半期純損失により純資産減少

(単位：百万円)	2015末時点	2016年9月末	増減
流動資産	1,571	1,108	-462
(現金預金)	509	407	
固定資産	69	142	+72
資産合計	1,641	1,251	-390
流動負債	627	441	
固定負債	0	0	
負債合計	628	441	-186
純資産	1,013	809	-203
自己資本 (うち利益剰余金)	1,014(470)	811(366)	
(自己資本比率)	61.7%	64.7%	
負債純資産合計	1,641	1,251	-390

日本を代表する総合インターネットグループへ GMO

損益計算書サマリ

特別損失1,200万円を計上

（単位：百万円）	2015年1-9月	2016年1-9月	業績予想	前期比
売上高	2,571	2,225	2,600	-13.4%
売上原価	1,813	1,754		
売上総利益	757	471		
販売管理費	481	477		
営業利益	275	-6	-60	―
営業利益率	10.7%	―		
営業外収益	0	1		
営業外費用	1	3		
経常利益	274	-8	-60	―
特別損益	―	※1 -12		
法人税等	103	5		
当期純利益	170	-27	-64	―

※1:投資有価証券評価損（アプリ・beacon領域開発会社 3bitter社）を計上

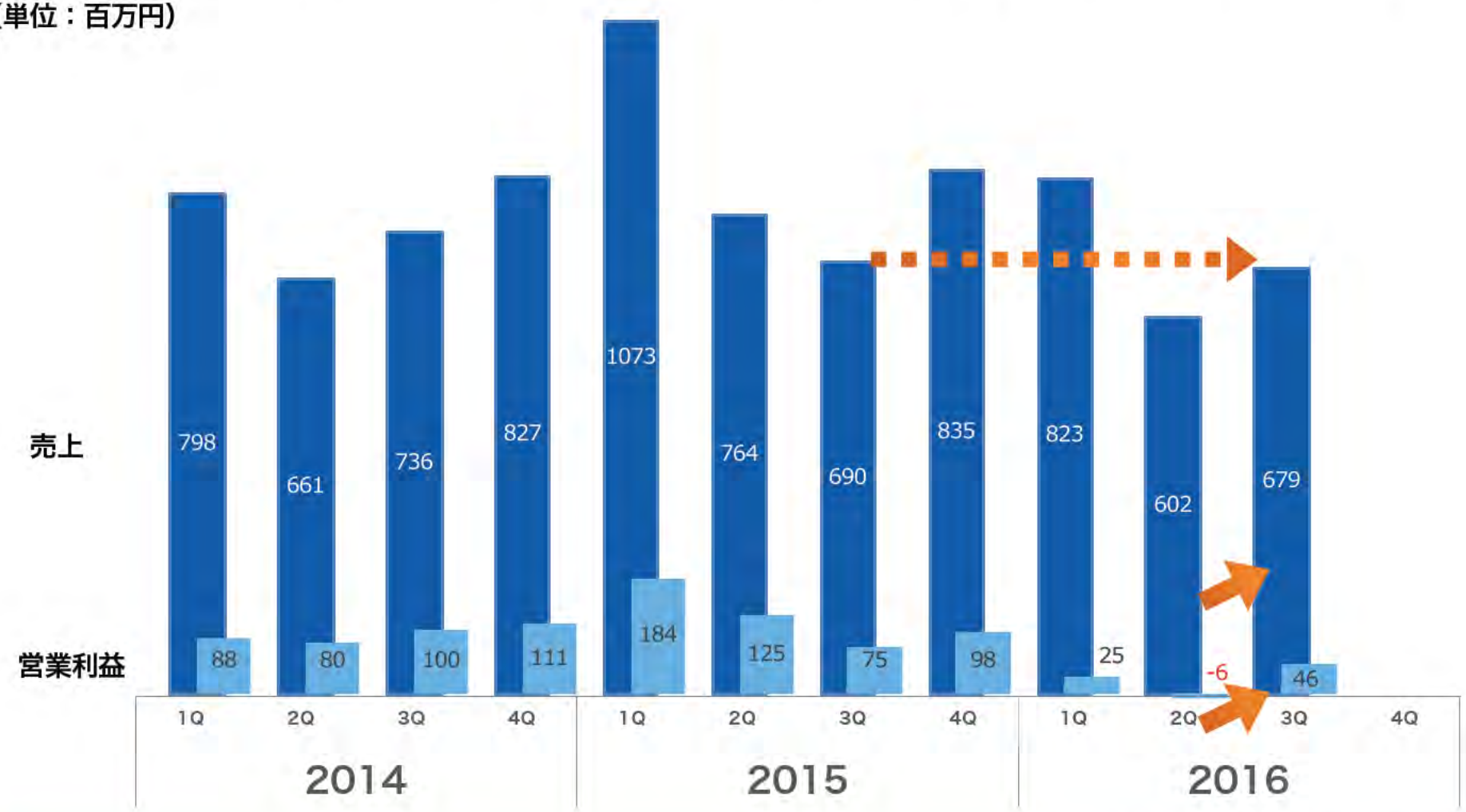
日本を代表する総合インターネットグループへ GMO

セグメント別概況

アドテク事業

売上は昨年3Q並みに回復。利益は2Qより改善し黒字化

(単位：百万円)



アドテク事業

2016/8/24 GMO ECカンファレンス2016にて「AsiAD byGMO」プロモーションを実施

ECにふれて、まなび、つながる一日

GMO ECカンファレンス 2016

2016.08.24 [WED] 13:00～21:00

渋谷セルリアンタワー（オフィス棟）

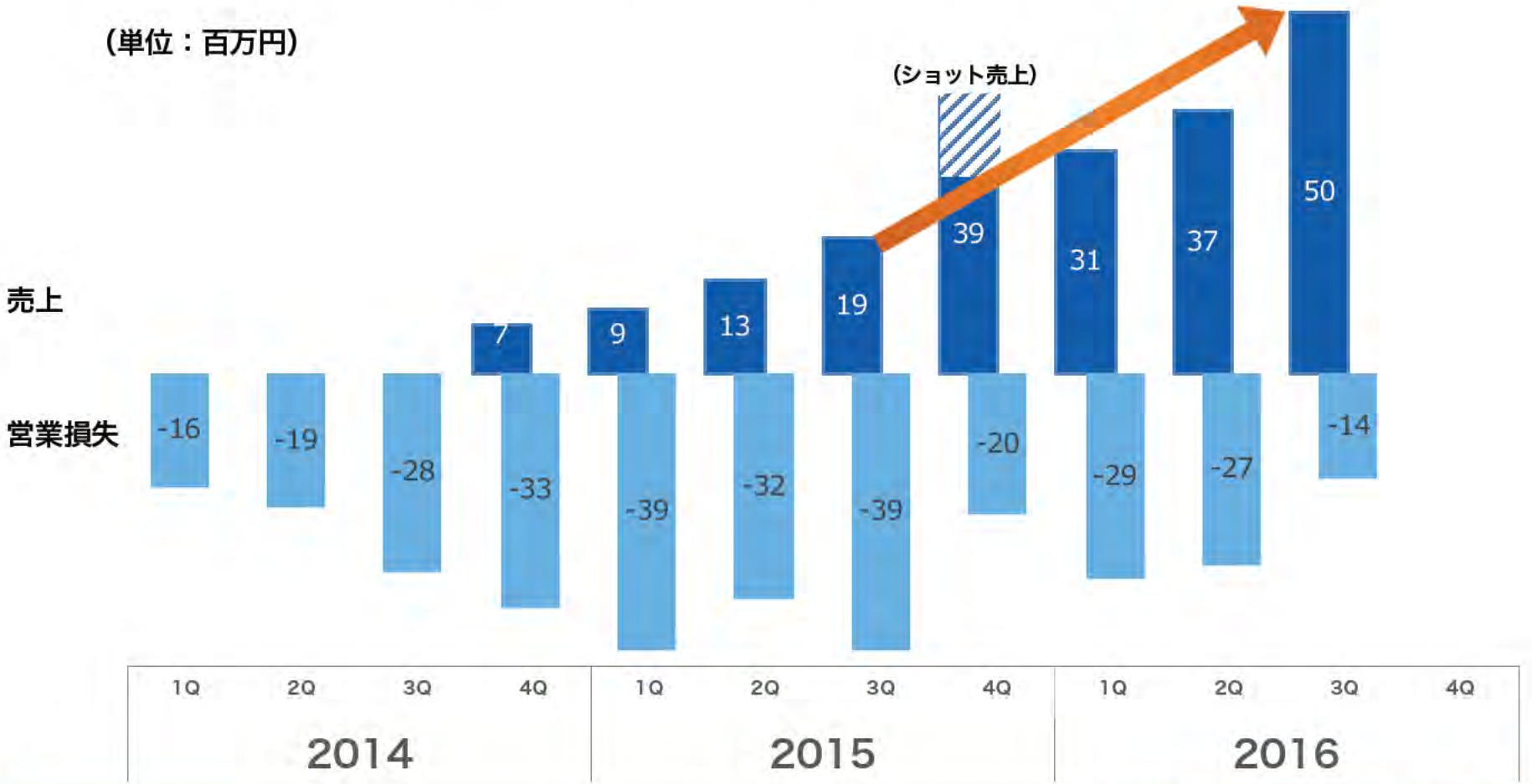


amazon LINE Rakuten ECzine

GMOMAKESHOP GMOペパボ GMOCOMMERCE GMOEPSILON GMOPAYMENTGATEWAY GMOTECH GlobalSign. GMOINTERNETGROUP .shop

O2O事業

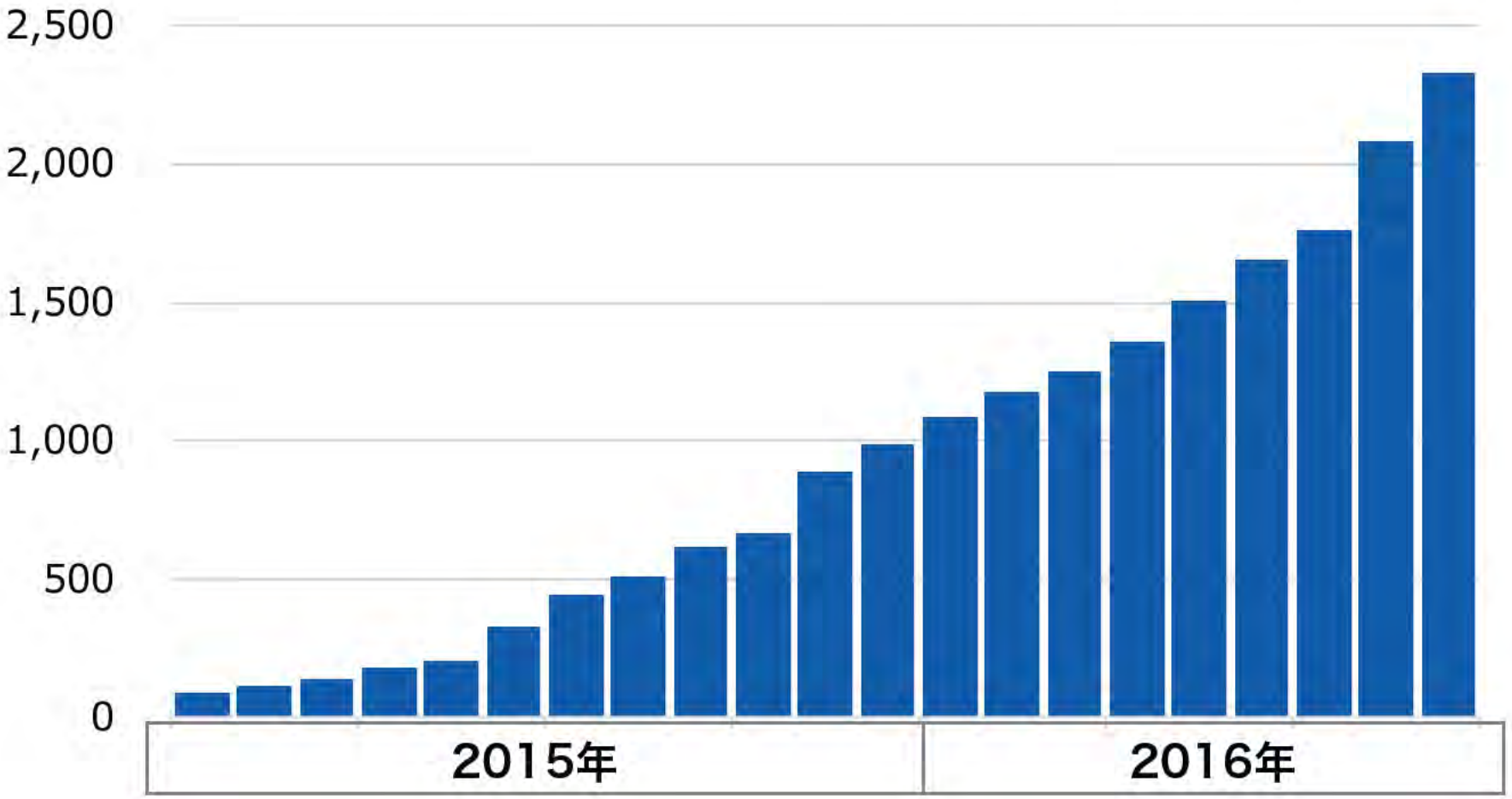
GMO集客アップカプセルは、2015年3Qに対して売上が168%成長と好調に推移



GMO TECH

O2O事業

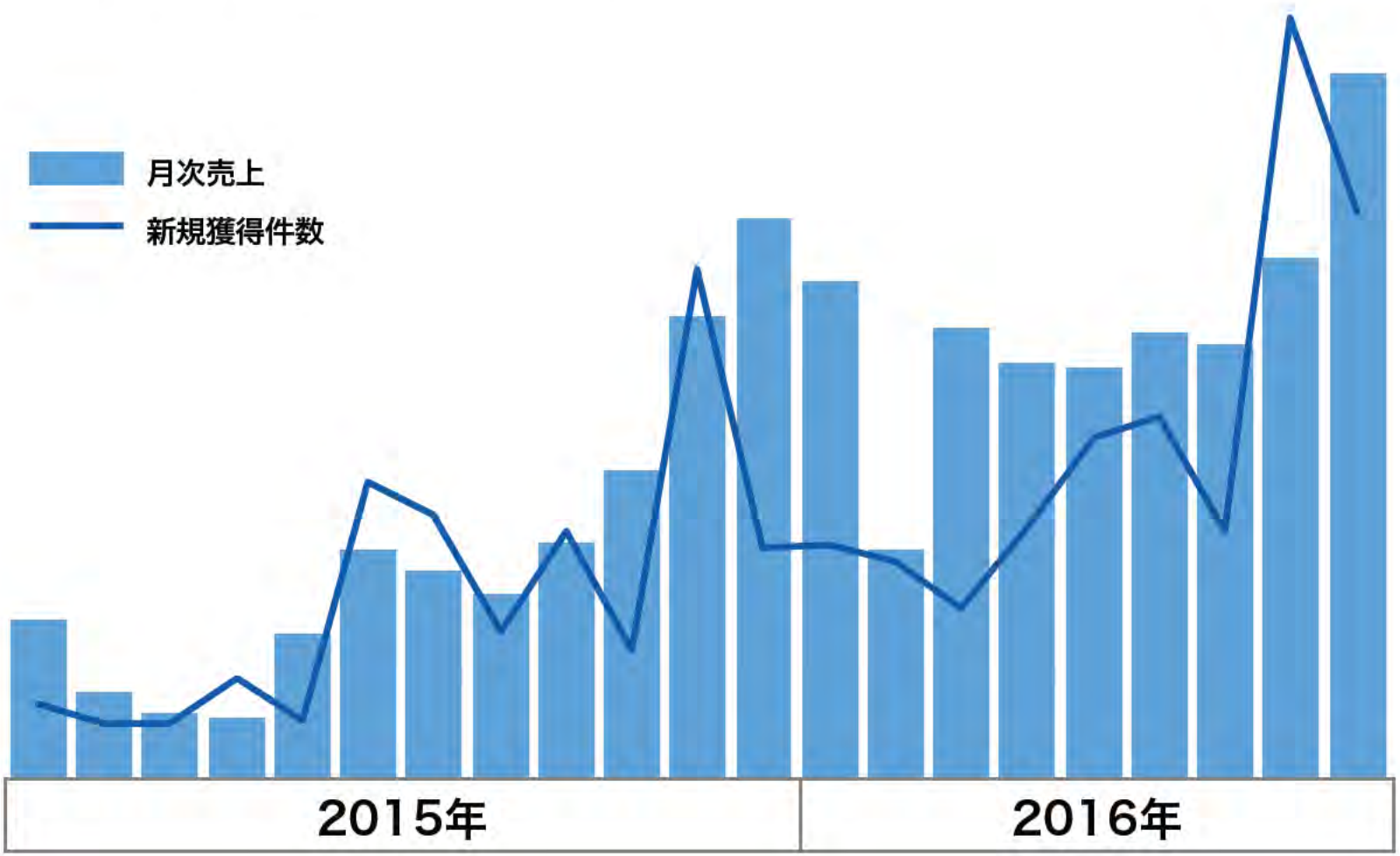
累計契約店舗数が2,000店舗を突破し順調に推移



GMO TECH

O2O事業

月次売上および新規顧客獲得も順調に推移



GMO TECH

O2O事業

飲食店

海産物居酒屋 さくら水産 おいしさと健康

watami

TGI FRIDAYS

Baru & Dining GOHAN.

HOOTERS JAPAN

俺の株式会社

ミツウロコグループ Carl's Jr. CHARGRILLED BURGERS

株式会社一家ダイニングプロジェクト

アミューズメント

BAGUS

GRAN CYBER CAFE b@gus

まんが喫茶 マンボー

ジクー

produced by 自遊空間 space create

ホテル・温浴施設

TOKYU SPORTS OASIS

●横浜天然温泉● SPA EAS

小売店

AEON

あそびの雑貨店 R.O.U

HILL VALLEY

商業施設

Umikaji Terrace senagajima

コープおきなわ あっぷるタウン

人材・教育

あさがくナビ 朝日学情ナビ

総　括

今後の方向性

自社商材開発で成長路線へ。過去の反省から ボラティリティの高い単一商材に頼らない企業へ。

事業領域	現状と主要施策
アドテク事業	・組織強化を継続 ・自社積上げモデルの商材およびメディアの開発中 ・宮崎オフィスでの運用拠点強化
O2O事業	・黒字化時期検討 ・国内最大のマーケットシェアを早期に確立 ・圧倒的な機能強化 ・海外展開を見据えた開発・運用体制

GMO TECH

本資料には、2016年10月27日現在の将来に関する前提、見通し、計画等に基づく予測が含まれています。世界経済、競合状況、為替の変動等にかかわるリスクや天変地異などの不確定要因により実際の業績が記載の予測と大きく異なる可能性があります。またマーケットシェアなどの数値について一部弊社推計値が含まれております。調査機関によって異なる可能性があります。
また本資料に掲載されている情報は、情報の提供を目的としたものであり、投資の勧誘を目的としたものではありません。また本資料内に記載されている業績予想などの将来の予測に関するものは、リスクや不確定要因を含みます。実際の業績は経済情勢や市場環境など、さまざまな要因により、かかる予想とは大きく異なることがあることをご承知おきください。当該情報に基づいて被ったいかなる損害に関しても、その理由の如何に関わらず一切の責任を負うものではございません。

Copyright (C) 2016　GMO TECH, Inc. All Rights Reserved.